

それって ホントにあなたの価値観 でしょうか?

～自分自身の人生を生きるとは～

「普通」から外れた時、
自分だけの価値観が何も無かった

高 校受験の失敗がきっかけで部屋の外に出られなくなりました菅沼和司さん。

弟の功さんは近くで和司さんを支えてきました。
6年間のひきこもりののち、兄弟で若者支援事業団を結成。
ひきこもり状態から自立し、若者支援をしてきた経験をもとに、個々の価値観等についてお話しいただきます。

参加無料

日時

令和6年9月29日 日

開場 12:30

講演 13:00~14:30

会場

豊明市総合福祉会館 3階 大会議室
(豊明市新田町吉池18-3)

定員

40名(先着)

申込

電話・メール・FAX・直接窓口にて
(申込詳細は裏面をご覧ください)

受付期間

令和6年8月1日(木)~9月25日(水)

問い合わせ先

豊明市社会福祉協議会
ひきこもり相談窓口はばたき
豊明市新田町吉池18-3 豊明市総合福祉会館内
電話: 0562-93-5051 / 080-6900-7941
FAX: 0562-93-3880
Mail: habataki@toyoake-syakyo.jp
月~金 8:30~17:15(祝除く)



菅沼 功氏

一般社団法人若者支援事業団 代表理事

フリーター生活のなかで、使い捨てにされ刹那的に生きている若者たちの現実を目の当たりにし、「彼らを支援したい」と、兄と共に若者支援事業団を設立。



菅沼 和司氏 (ひきこもり経験者)

一般社団法人若者支援事業団 理事

「自分の人生はここで終わった」と高校受験失敗からひきこもりに。今は若者支援事業団で、自分と同じように悩む若者を、近い目線で支援したいという思いで活動している。

一般社団法人若者支援事業団とは

社会的自立に際し若者が抱える様々な問題を、若者たち自身の立場から解決していこうと事業団を設立。若者が社会で自立していけるように、支援する事業を行っている。

会場

